

## 2012年3月期 第3四半期決算に関する主な質問

2012年2月17日

セガサミーホールディングス株式会社

### 2012年3月期 第3四半期実績

#### ■全体について

Q:前年同期(2011年3月期 第3四半期)と比較して、増収、営業増益となった要因は？

A:パチンコ販売台数の増加、ならびにパチスロ主カタイトル「パチスロ北斗の拳」のヒットなど、遊技機事業が好調に推移したことを主因として、売上高、営業利益ともに前年同期実績を上回りました。

Q:設備投資額が、前年同期(2011年3月期 第3四半期)と比較して、大きく増加している要因は？

A:主にサミーにおける新工場、新流通センターの建設着工によるものです。新工場、新流通センターの建設に係る投資額は合計で162億円、そのうち、今期における投資額は約60億円を見込んでおります。

#### ■遊技機事業について

Q:前年同期(2011年3月期 第3四半期)と比較して、増収、増益となった要因は？

A:パチンコ販売台数の増加、ならびにパチスロ主カタイトル「パチスロ北斗の拳」の販売が好調に推移したことを主因として、売上高、営業利益ともに前年同期実績を上回りました。

#### ■アミューズメント機器事業について

Q:前年同期(2011年3月期 第3四半期)と比較して、減収、減益となった要因は？

A:主カタイトル「StarHorse3 Season I A NEW LEGEND BEGINS.」の販売は堅調なもの、利益率の高いCVTタイトル数の減少や、一部製品の基板入替による一時的な原価上昇等により、売上高、営業利益ともに、前年同期実績を下回りました。

#### ■アミューズメント施設事業について

Q:前年同期(2011年3月期 第3四半期)と比較して、減収ながらも、増益となった要因は？

A:店舗数の減少により、売上高は前年同期実績を下回るものの、運営力の強化等により、営業利益は前年同期を上回りました。

#### ■コンシューマ事業について

Q:前年同期(2011年3月期 第3四半期)と比較して、減収、損失計上となった要因は？

A:海外ゲームソフト事業が低調に推移したことを主因として、売上高、営業利益ともに前年同期実績を下回りました(営業損失計上)。

Q: ソーシャルゲームなどの分野における主な実績は？

A: 「Kingdom Conquest(キングダムコンクエスト)」の Android 版をリリースいたしました。従来の iOS 向けを含めると、12 月末日時点での累計ダウンロード数が、全世界で 200 万を突破いたしました。

## 2012 年 3 月期 通期見通し

### ■全体について

Q: タイで発生した洪水の影響は受けていないのか？

A: 遊技機事業において、特定のパチスロ部材の調達が困難となり、代替部材を用いて再度、許認可申請を行った影響により、第4四半期での一部タイトルの販売スケジュールを見直しております。

### ■遊技機事業について

Q: 第 4 四半期に販売する主なタイトルは？

A: パチスロでは、ロデオブランド「モンスターハンター」、パチンコでは、サミーブランド「ぱちんこ CR 逃亡者おりん2」、「ぱちんこ CR 桃太郎電鉄ひらけ！ キングボンビジョンの巻」などの販売を行う予定です。

### ■アミューズメント機器事業について

Q: 第 4 四半期に販売する主なタイトルは？

A: 第 3 四半期に発売した、今期主力タイトル「StarHorse3 Season I A NEW LEGEND BEGINS.」の販売(出荷)を継続するほか、引き続き、レベニューシェアタイトルの配分収入などを見込んでおります。

### ■アミューズメント施設事業について

Q: セガ国内既存店舗売上高の足元の状況は？

A: 第 3 四半期累計で前年同期比 100.5%となり、計画に対しても堅調に推移しております。通期で 100%の達成を目指し、個店別のオペレーション強化や、主力タイトルの設置効果の最大化を図るなど、引き続き、売上高の回復に努めてまいります。

Q: 今期、営業損失を計上する見込みとなっている要因は？

A: セガ国内既存店舗の売上高は、第 3 四半期まで堅調に推移しておりますが、今期は大型タイトルの導入等により、減価償却費が前期比で増加する見込みとなっているためです。

### ■コンシューマ事業について

Q: 現在の収益状況を受けての対策とは、具体的に何を行うのか？

A: 現時点で決定している事項はございませんが、海外におけるゲームソフト事業を中心に、コンシューマ事業の収益基盤の改善・強化に向け、施策の検討を進めております。

Q: 第 4 四半期に販売する主なゲームソフトは？

A: 「Mario & Sonic at the London 2012 Olympic Games™」の 3DS 版や、「バイナリー ドメイン」などの発売を予定しております。

Q: スマートフォン向けや、ソーシャルゲーム分野における、今後の取り組みは？

A: 第 4 四半期において、iOS 向け「三国志コンクエスト」や、Mobage 向け「キングダム コンクエスト ヘヴン」、GREE 向け「龍が如く 絆」などの配信を予定しております。

以上

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。